

農山漁村地域整備計画点検表

計画の名称	大阪府農空間整備計画 2期
-------	---------------

項 目	細 目	点検結果	説明欄
目標の妥当性	1 施策との整合がはかられているか	○	本計画の目標は、「大阪府都市農業の推進及び農空間の保全と活用に関する条例」の目的や基本理念である都市農業の振興と農空間の保全・活用を掲げており、府の施策と整合している。
	2 地域の課題に適切に対応する目標となっているか	○	農業の担い手の減少や高齢化などにより、農地や農業用施設の適正な保全・管理が困難な状況にあり、農空間の公益的機能が十分果たせない状況となっている。 このため、計画の目標は、農空間の公益的機能が十分発揮されるよう必要なハード整備とあわせ、府民協働の取組みにより農空間の保全活用を図ることを掲げており、課題に対して適切な目標となっている。
整備計画の効果・効率性	1 定量的指標は適切に設定しているか	○	計画の目標を達成するための対象構成事業（関連事業含む）毎に事業効果や必要性について定量的な指標を設けており適切である。
	2 事後評価ができる適切な指標となっているか	○	湛水被害等の未然防止や事業による効果がある地域及び集落数等は事業実施後に評価できる指標となっており、構成事業（関連事業含む）各地区の指標を積み上げることで評価できるため適切である。
	3 構成事業の実施による効果を評価するための指標として適切なものとなっているか	○	関連事業を含む各事業の実施により、発現する効果が事業目的に即した指標となっている。
整備計画の実現可能性	1 円滑な事業執行の環境が整っているか	○	事業実施地区（関連事業含む）毎に府あるいは市町、団体とそれぞれ事業主体が推進体制を整えているため、事業執行環境は整っている。
	2 地元の機運が醸成されているか	○	地元要望にもとづき、また事業同意を得ており、地元の機運は事業当初から醸成されている。